

専門科目出題説明一覧

(1/2)

| 講座番号 | 講座名称 | 科目名 | 出題内容についての示唆 |
|------|--------------|------------|---|
| 01 | 数理・情報科学講座 | 数理科学 | 線型代数学、解析学(微分積分学、関数論、フーリエ解析、力学系理論、確率論、微分方程式、関数解析)の知識と理解力を問う。 |
| | | 情報科学 | 情報科学全般の基礎的知識と計算機科学・人工知能・データサイエンス等の研究に必要な思考力を問う。 後者は、プログラミング、数理論理学、言語理論、計算理論、符号理論、アルゴリズムとデータ構造、機械学習等の分野および、これらに付随する数学の基本的な素養を対象とする。 |
| 02 | 人間・社会・思想講座 | 哲学・思想 | 以下のなかから一つを選択する。ただし、a, b, c, d については、哲学の基礎知識を問う a, b, c, d 共通問題を含む。 a. 自己存在論：存在論・現象学・解釈学を中心に、哲学の知識と思考力を問う問題。 b. 認識人間学：分析哲学・科学哲学・認識論を中心に、哲学の知識と思考力を問う問題。 c. 哲学・文化史：哲学史を中心に、それと関係する科学史・文化史などに関する知識と思考力を問う問題。 d. 人間実践論：現象学・実践哲学（倫理学）を中心に、哲学の知識と思考力を問う問題。 e. 文明相関論：近現代の社会思想にかかわる諸問題を、主としてドイツ語圏の思想家・研究者の視点から問う。 f. 文明構造論：近現代のドイツ文学、精神史についての基礎理解と問題関心を問う。 |
| | | 社会行動論 | 以下の論述形式の問題の中から一つを選択する。 a. 社会学 b. グループ・ダイナミックス、社会心理学 |
| | | 人間形成論 | 人間形成の諸問題に関わって、精神分析学・精神病理学、発達心理学、教育社会学、教育史、言語教育学から出題した問題の一つを選択し解答する。なお、精神分析学・精神病理学は外国語(英・独・仏)を問う問題(選択式)を含む。 |
| 03 | 芸術文化講座 | 世界文学 | 以下の中から出題された問題の一つを選択して回答する。 a. 英語文学：文学史、およびその背景についての基本的知識と、読解力、論述力を問う。 b. ドイツ文学・文学社会学：歴史社会的な観点から、文学や文化について考察する力(語学力を含む)を問う。外国語は英語とドイツ語から選択する。ドイツ語圏に関して研究する者はドイツ語を選択すること。 c. イタリア文学：イタリアの文学、言語、および、その歴史・文化的背景についての基本的知識と理解を問う。外国語の一つはイタリア語を選択すること。 d. ヘブライ文学：ヘブライ語で書かれたヘブライ文学を中心に、ユダヤ諸語で書かれたユダヤ文学、および周辺地域の文学との比較に関する知識と理解力を問う。 |
| | | 演劇学・映画学 | 以下の中から出題された問題の一つを選択して回答する。 a. 映画学：映画メディア研究に関する基礎知識、読解力、思考力を問う。 b. フランス文学・演劇：おもにフランスにおける文学・演劇およびその理論に関する知識と論述する力を問う。 c. 英米演劇：英米演劇に関する知識と論述する力を問う。 |
| | | 芸術学・音楽学 | 以下の中から出題された問題の一つを選択して回答する。 a. 芸術学：西洋および日本の美学・芸術学・美術史についての知識を問う。 b. 音楽学：西洋音楽史(音楽美学を含む)についての知識を問う。音楽・音楽学に関連する外国語(仏・英から選択)の問題を課すこともある。 |
| 04 | 認知・行動・健康科学講座 | 認知・行動・健康科学 | 認知・行動・健康科学講座の受験生は、専門試験科目として「認知・行動・健康科学」を受験すること(これ以外の科目の受験は認めない)。本試験科目では、「基礎」と「発展」の2つの大問を設定し、受験生は各大問に含まれる小問を1問ずつ選択して解答する。 「基礎」の設問では、認知・行動・健康科学講座での研究に関連する基礎的な問題が複数問出題され、受験生はその中から小問1つを自由に選択し、解答する。選択する小問は必ずしも受験生の希望する研究室の専門と同じでなくとも良い。 「発展」の設問では、認知・行動・健康科学講座での研究に関連する発展的な問題が複数問出題され、受験生はその中から小問1つを選択し、解答する。希望する研究室の専門に関連する小問を選択することが望ましい。 本試験科目で出題される内容には、「基礎」・「発展」ともに、神経科学(認知神経科学・神経生理学)、心理学(認知心理学・社会心理学・文化心理学)、医学(心の発達と精神医学・予防医学・健康科学)、運動科学(運動制御・運動学習・感覚と運動・骨格筋の生理生化学・神経筋の可塑性)などが含まれる。 |

専門科目出題説明一覧

(2/2)

| 講座番号 | 講座名称 | 科目名 | 出題内容についての示唆 |
|------|-----------|------------|---|
| 05 | 言語科学講座 | 言語情報科学 | 認知言語学・生成文法・機能的類型論・相互行為言語学などの主要な言語科学理論と関連領域について、主要概念に関する基礎知識および言語事例の理論的な分析力を選択問題により問う。英語問題に加え、選択でフランス語問題を含めることがある。 |
| | | 言語比較論 | 諸言語を比較・対照し、分析・記述するために必要な基礎的知識と応用力を問う。 |
| | | 外国語教育学 | 以下の中から一つを選択する。 a.外国語教育論(応用言語学に関する知識と理解力を問う) b.言語教育研究開発論(言語教育学に関する知識と理解力を問う) |
| 06 | 東アジア文明講座 | 東アジア文学・言語論 | 以下の中から一つを選択する。 a.日本語学・日本古典文学・日本近代文学に関する専門的知見、および文献解読の能力を問う。 b.中国語学・中国古典文学・中国語圏近現代文学に関する専門的知見、および文献解読の能力を問う。 |
| | | 東アジア歴史・思想論 | 以下の中から志望する教員の研究内容に最も近い分野の専門的知識と理解力を問う。 a.古代から中世に至る日本の歴史に関する専門的知識と理解力を問う。 b.中国古代・中世史に関する専門的知識と理解力を問う。 c.中国近世史に関する専門知識と理解力を問う。 d.中国近代史に関する専門知識と理解力を問う。 e.古代から近世に至る中国思想史に関する専門的知識と理解力を問う。 |
| | | 博物館文化財学 | 日本を中心とするアジアの美術・工芸・考古に関する専門知識を問う。 受験者は事前に指導を希望する教員と連絡を取ること。 |
| 07 | 共生世界講座 | 現代世界論 | 以下の中から志望する教員の研究内容に最も近い分野の専門的知識と理解力を問う。 受験者は事前に指導を希望する教員と連絡を取ること。 a.経済理論としてマルクス経済学、および経済思想・社会思想に関する知識と理解力を問う。 b.現代の政治・経済に関わる諸問題についての知識、およびグローバル化の歴史と理論への理解力を問う。 c.アメリカ外交史・文化史に関する知識と理解力を問う。 d.憲法・司法政治に関する理解を問う。比較憲法・比較司法政治(主にアメリカ)に関する理解を問うこともある。 e.国際政治に関する概念や歴史に関する理解を問う。 f.近現代の法哲学・法思想に関する知識と基礎的な理解を問う。 |
| | | 歴史社会論 | 以下の中から出題された論述形式の問題を一つ選択して回答する。 受験者は事前に指導を希望する教員と連絡を取ること。 a.アメリカ合衆国を中心に西半球における移民の歴史について、資本主義や人種主義をめぐる諸問題を視野に入れて問う。 b.中世を中心に、中近世ヨーロッパ史についてその知識と理解を問う。また英語や関連する専門領域の言語の読解についての試験も行うことがある。 c.19・20世紀を中心に、近現代ヨーロッパ史についてその知識と理解を問う。また英語や関連する専門領域の言語の読解についての試験も行うことがある。 d.中東・北アフリカ地域の近現代史についてその知識と理解を問う。また、英語および関連する地域の言語について、読解力を問う試験を行う場合がある。 e.乾燥地を中心に、自然と人間のかかわりあいの歴史について、資源管理と環境保全、科学知と在来知、技術開発と社会共創をめぐる諸問題を視野に入れて問う。 |
| | | 共生社会論 | 公共政策学、環境経済学および社会法学についての理解力を問う。 |
| 08 | 文化・地域環境講座 | 文化人類学 | 人類学の理論と民族誌的知識ならびに現代的課題について文化人類学的、社会人類学的視点からの理解を問う。 |
| | | 地域空間論 | 人文地理学および地理学の基礎知識と、その応用力を問う。 |
| | | 環境構成論 | 建築学・都市計画学・図形科学に関する基礎知識と理解力を問う。 |
| | | 文化遺産学 | 以下の中から志望する教員の研究内容に最も近い分野の専門的知識と理解力を問う。 a.古代の都城ならびに考古遺物の研究法に関する専門的知識を問う。 b.保存科学に関する専門的知識を問う。 c.史料(出土文字資料を中心とする)に関する専門的知識を問う。 d.環境考古学に関する専門的知識を問う。 |

【理科学目】

| | | |
|--------------|---------|---|
| 09:物質科学講座 | 物理学 | 力学・電磁気学・熱力学・量子力学・統計力学などから、物理学の基礎学力を問う。 |
| | 化学・物質科学 | 物理化学、無機・分析化学、有機化学等の5問の中から4問を選択して解答する。 |
| 10:地球・生命環境講座 | 生物学 | 植物学、動物学、系統分類学、生態学、微生物学、生化学、分子生物学など、生物学の基礎的な知識に関する問題の中から、少数の問題を選択して解答する(英語にて生物学の知識を問う場合もある)。 |
| | 地球科学 | 地質学・地球物理学およびそれらの周辺分野に関する基礎的知識とその考察力/応用力を問う。 |